

平成26年度 三木市下水道事業会計決算のあらまし

下水道は、快適な市民生活に必要な不可欠で大切な施設です。下水道の整備に伴い、住環境の改善や河川などの水質保全を図っています。

下水道事業は、下水道使用料と一般会計からの繰入金を収入として運営しています。このたびは、平成26年度の決算状況をお知らせします。

【普及・汚水処理状況】

下水道を整備する計画を定めている区域内の普及率は97.8%、そのうち下水道管に接続している水洗化率は91.6%です。また、汚水処理件数は、昨年度より416件(1.6%)増えましたが、下水道使用料収入の対象となる年間有収水量は、大口需要家の排出水量が減少したこと等により昨年度より180,298m³(2.3%)減少し、7,539,064m³となりました。

【財政状況(収益的収支)】

収入は、年間有収水量の減に伴い下水道使用料が減少しましたが、一般会計からの繰入金やその他の収入などにより、総額26億2,262万円となりました。

一方、支出は、施設の減価償却費の増などで総額25億3,829万円となり、その結果、収支は8,433万円の黒字となりました。

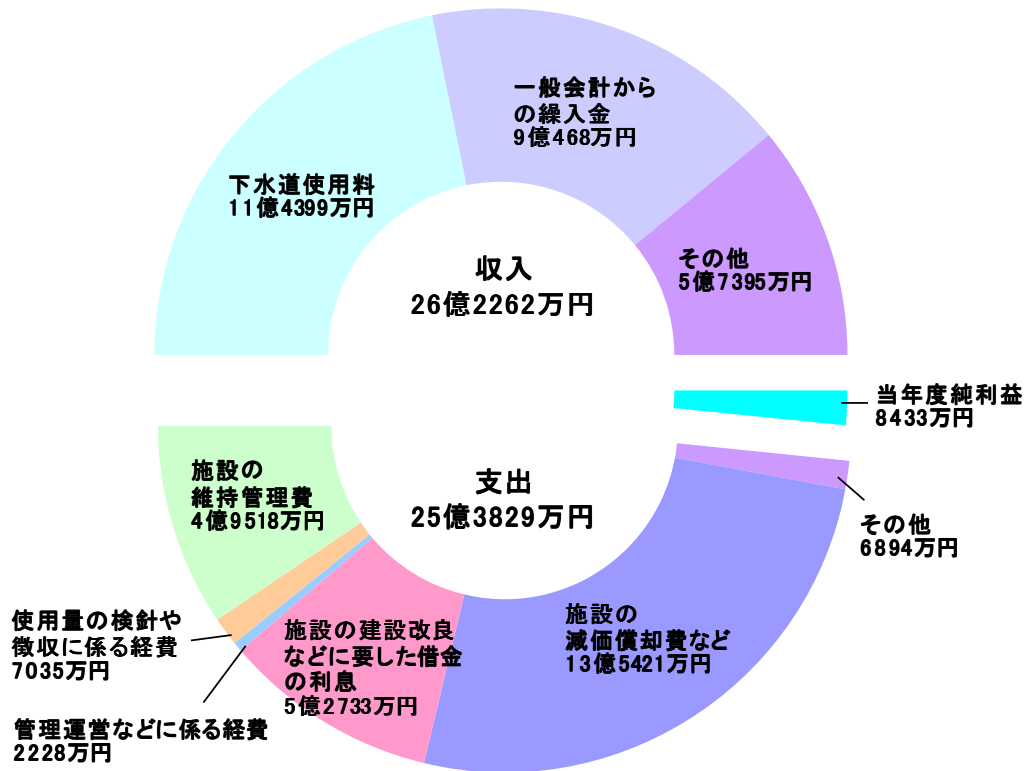
なお、平成26年度から地方公営企業会計基準が改定されました。

【下水道整備状況】

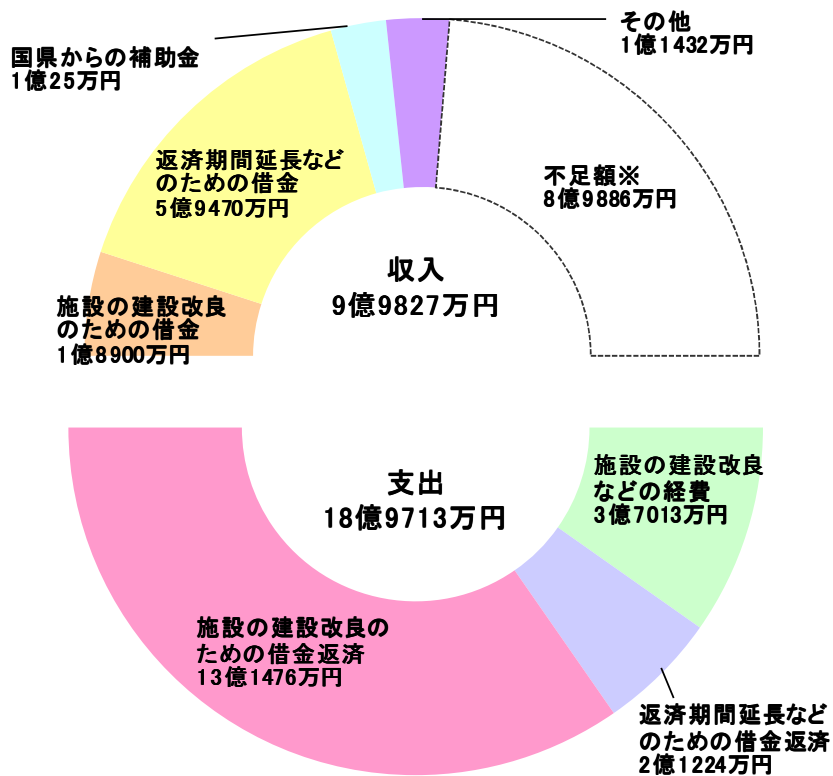
項 目	平成26年度	平成25年度	増 減	比 率(%)
行政区域内人口(人)	79,479	80,065	△ 586	99.3
整備計画区域内人口(人) A	72,806	73,270	△ 464	99.4
供用開始区域内人口(人) B	71,218	71,567	△ 349	99.5
水洗化人口(人) C	65,247	65,137	110	100.2
汚水処理件数(件)	26,898	26,482	416	101.6
整備計画区域内普及率(%) B/A	97.8	97.7	0.1	100.1
水洗化率(%) C/B	91.6	91.0	0.6	100.7
有収水量(m ³) ※	7,539,064	7,719,362	△ 180,298	97.7

※有収水量とは、処理場で処理した全ての水量のうち、雨水や地下水などを除いた下水道使用料収入の対象となる水量

【経営活動に伴う収入と支出（損益収支のため消費税等抜き表示）】



【施設整備に要する収入と支出（資本収支のため消費税等込み表示）】



※ 不足額は、施設の減価償却費などの内部留保資金などで補てんしました。

【貸借対照表】

